

心安らぐ 私の場所

- 目標**
- ☑ 自分の好きな場所を探してみよう。
 - ☑ 全体と部分のバランスを意識して構想を練ろう。
 - ☑ 鉛筆や水彩絵の具などの使い方を工夫して描こう。
 - ☑ 作品を見て、その場所を選んだ作者の気持ちを感じ取ろう。

📍 場所の雰囲気^{ふんいき}をあらわすにはどんな構図や色がよいだろう？

自分の好きな場所を描いてみよう。なぜか心安らぐ場所やいつもの通学路、部活動で汗を流すグラウンドなどを描くのもいい。新たに探してみるのもいいだろう。描いているうちに感じ取る心が高まって、新しい発見があるかもしれない。

場所が決まったら、その場所のよさを十分に引き出す方法を考えながら描いてみよう。絵の雰囲気は全体と部分の^{ふんいき}関係に注目したり、鉛筆や絵の具の^{えんぴつ}使い方を工夫したりして描くことで、大きく変わる。自分らしい、とっておきの絵に仕上げよう。



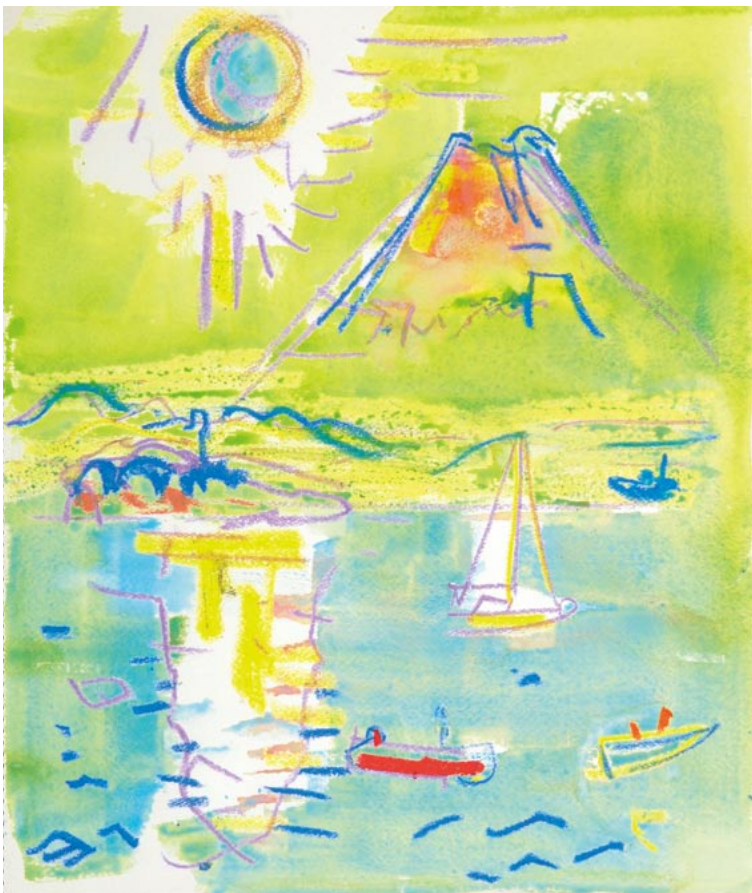
© Alisa Mellon Bruce Collection, Image courtesy National Gallery of Art, Washington

ヴェトウイユのモネの庭

キャンヴァス、油彩 150×120cm 1880年 ワシントン・ナショナル・ギャラリー蔵(アメリカ)
クロード・モネ [1840～1926 フランス]



練習の跡 あと 加工紙, アクリル 38.8×54cm 生徒作品



江の島富士旭日 えしまふじきょくじつ
紙, クレヨン, 水彩 46×39cm 2008年
佐藤泰生 [1945～中国・大連出身]



風景を眺めてスケッチを重ねる作者。

作者の言葉

逗子の海岸から眺める富士もいいが、家の近所の公園から見る江の島と富士は最高だ。手前の港の生活感と富士の関係がいい。自分の身近なところに、これほど魅力的な風景があることをうれしく思う。これは私だけのための風景なのではないか、とさえ感じる。



体育館の公衆電話 紙, 水彩 39.2×18cm 生徒作品

作者の言葉

この古い電話を見たとき、なぜか「描きたい!」と強く思いました。電話の色をつくりだすのがとてもおもしろかったです。自分らしい絵に仕上がったと思います。

構図やバランスを意識して、絵の構想を練ろう

絵の構図や全体と部分のバランスを考えるときには、枠で風景を切り取ったり、鉛筆で描くものの比率を測ったりしてもよいだろう。



指で枠をつくって風景を切り取り、構図を考えてもよい。



片目をつむり、鉛筆を物差しのように使って、大きさの違いや傾きなどを測ってもよい。

平面に関する技法と用具

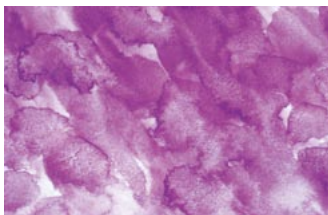


形を捉えて構図を決めたら、色を塗ってみよう。いろいろな描き方を試して、自分の表現に生かそう。

■水彩絵の具で描く

紙に描くときの基礎的な画材の一つが、水彩絵の具だ。にじみやぼかしの効果を生かして描いてみよう。

さまざまな効果



↑紙の表面を水でぬらし、色の違う絵の具を筆に含ませ、紙の上でにじませた。
 ↙上から下へと、水を少しずつ増やしながらぼかした。
 ←まだらになるように、筆の跡を残した。



パレットは、小さな仕切りの部分に絵の具を出し、大きな仕切りの部分を使って色を混ぜて使う。



ぶどうを持つ少女(部分) 紙、水彩 35.8×38cm 1973年
 ちひろ美術館蔵(東京都、長野県)
 いわさきちひろ [1918～74 福井県出身]

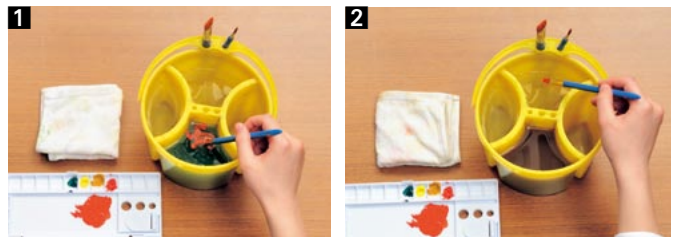


水を多めにした絵の具で、にじみを多用して描いた。



- ① 丸筆。色をつけるときに使う。
- ② 面相筆。細かい部分を描くときや細い線を引くときに使う。
- ③ 平筆。広い面を塗ったり、絵の具を均一に塗ったりするときに用いる。

筆洗の使い方



- ① 筆洗の水を入れる仕切りの幾つかは、筆を洗うときに使う。
- ② 絵の具を溶いたり混ぜたりするときには、きれいな水を使う。

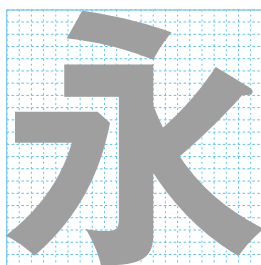
■レタリング

広告やポスターなどで、視覚的な効果を意識して文字をデザインすることをレタリングという。



明朝体

印刷物の本文などで広く使われる。横の線が細く、縦の線が太い。読みやすさを優先したデザイン。

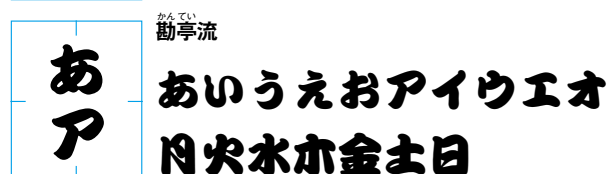
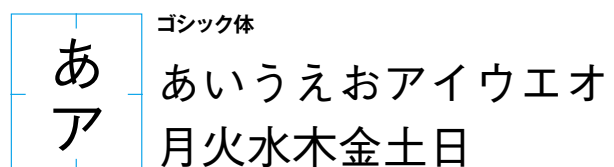
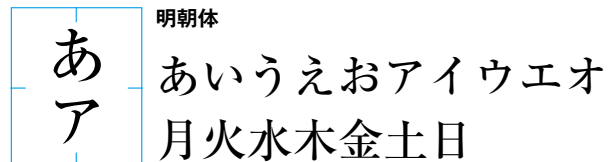


ゴシック体

印刷物の見出しなど、強調したい部分に使われる。縦横の線の太さはほぼ同じで目立つことを優先したデザイン。

和文書体

日本語の文字にも、多くの書体がある。



■アクリル絵の具で描く

アクリル絵の具は、水彩絵の具のような表現以外にも、重ね塗りや厚塗りの表現ができる。乾くと水には溶けない。

水彩絵の具のような表現



↑初めに何色かの横の線を引き、乾いてから縦の線を重ねた。水を多めにするとうみ感が出るのも、アクリル絵の具の特徴だ。

←水彩絵の具のように、にじみやぼかしの表現もできる。

さまざまな材料に塗れる

アクリル絵の具は、紙以外にもさまざまな材料に塗ることができる。



布に塗った例



木に塗った例



石に塗った例

厚塗りの表現



アクリル絵の具を、少なめの水で溶いて使うと、油絵の具のような厚塗りの表現ができる。



紙粘土に塗った例

欧文書体

アルファベットの文字にも、多くの書体がある。



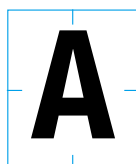
ローマン体 Garamond (ギャラモンド)

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
1234567890,.



イタリック体 Bodoni Italic (ボドニーイタリック)

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
1234567890,.



サンセリフ体 Helvetica (ヘルベチカ)

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
1234567890,.

■マスキング

はみ出さず、色を塗りたい部分を覆うことを、マスキングという。専用のテープで縁取れば、はみ出さず、色が塗れる。



1 マスキングする部分に専用のテープを貼り、テープにかかるように絵の具を塗る。

2 隙間なく絵の具が塗れたら、テープを丁寧に剥がす。